

経口製剤評価に用いる（FaSSIF、FeSSIF、FaSSGF）の組成・成分一覧と特徴を解説！

生体関連溶出試験液：5つの主要製品比較ガイド

ヒトの胃腸内環境（空腹時・食後）を再現する主要な5つの試験液の違いを瞬時に把握する。

	FaSSGF（胃）	FaSSIF / FaSSIF-V2（小腸）	FeSSIF / FeSSIF-V2（小腸）
 空腹時 (Fasted)	FaSSGF 空腹時の胃内環境を再現。 空腹時の胃における薬物の 溶解や、小腸移行前の挙動を 確認するために使用。	FaSSIF ヒト小腸の空腹時を再現する 業界標準の試験液。	FeSSIF ヒト小腸の食後を再現する 業界標準の試験液。
 食後 (Fed)		FaSSIF-V2 より生理的な空腹時小腸液。 胆汁酸とレシチンの比率を最 適化し、USP <1236> にも 推奨される改良版。	FeSSIF-V2 脂肪消化産物を含む食後液。 モノグリセリド等のリポシ 産物を配合し、食後の複雑な 溶解を高度に再現。



目的に応じた「3F Powder」の活用

1つの粉末からFaSSIF、FeSSIF、FaSSGFの3種を迅速に調製可能。

Biorelevant社の5種類の生体関連溶解媒体

（FaSSIF、FeSSIF、FaSSGF、FaSSIF-V2、FeSSIF-V2）の成分表です。

これらの媒体は、専用のパウダー（3F Powderや各V2用パウダー）とバッファー濃縮液を精製水で希釈・混合することで調製することができます。

媒体名	再現環境	成分（脂質・胆汁酸等）	バッファー・塩成分
FaSSIF	空腹時小腸	・タウロコール酸ナトリウム ・レシチン	・リン酸ナトリウム ・塩化ナトリウム ・水酸化ナトリウム
FeSSIF	食後小腸	・タウロコール酸ナトリウム ・レシチン	・塩化ナトリウム ・酢酸、 ・水酸化ナトリウム
FaSSGF	空腹時胃	・タウロコール酸ナトリウム ・レシチン	・塩化ナトリウム ・塩酸
FaSSIF-V2	空腹時小腸 (Ver.2)	・タウロコール酸ナトリウム ・レシチン	・リン酸ナトリウム ・塩化ナトリウム ・水酸化ナトリウム
FeSSIF-V2	食後小腸 (Ver.2)	・タウロコール酸ナトリウム ・レシチン ・モノオレイン酸グリセリル ・オレイン酸ナトリウム	・クエン酸ナトリウム ・塩化ナトリウム ・クエン酸

【よくある質問】

Q：酵素は含まれていますか？

A：これらの成分はすべて化学的に合成されたものであり、酵素を含む、動物由来成分や食品、医薬品成分は含まれていません。

Q：通常品とV2（バージョン2）の違いは？

A：V2品は成分比率の調整や脂質分解物などを追加し、より生理学的に近い成分構成になっております。

FaSSIF-V2は、オリジナルのFaSSIFと同じ界面活性剤を含みますが、胆汁酸塩とレシチンの比率がわずかに異なります。

FeSSIF-V2には、生体内での脂肪の消化をより正確に再現するため、脂質分解生成物（モノオレイン酸グリセリルおよびオレイン酸ナトリウム）が追加されています。

Q：この製品のpHや浸透圧といった物理化学的特性の定義は？

A：これらの溶液は、ヒトの体温である37℃において定義されたpH値や浸透圧を示すよう設計されています。

媒体シリーズ	媒体名	再現環境（状態）	pH (at 37°C)
標準シリーズ	FaSSIF	空腹時小腸	6.50 ± 0.05
標準シリーズ	FeSSIF	食後小腸	5.00 ± 0.05
標準シリーズ	FaSSGF	空腹時胃	1.60 ± 0.05
V2シリーズ	FaSSIF-V2	空腹時小腸 (Ver.2)	6.50 ± 0.05
V2シリーズ	FeSSIF-V2	食後小腸 (Ver.2)	5.80 ± 0.05

本製品はChemCupidの「抗体・タンパク質・Kit 品等の検索」の機能よりお調べいただけます。
お求めの場合は、専用のバッファーと共に、もしくはセット品をお求めください。